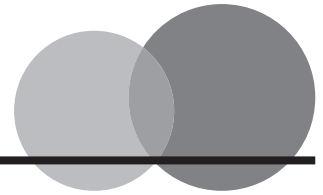


2019



No.12



上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇通知・案内事項

○第85年会「一般研究発表(口頭・ポスター)」講演申込締切のお知らせ・・・本号5ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2019)	(2020)
◇年会		3/15～17(関西大学)
◇秋季大会		9/24～26(岩手大学)
◇支部大会		
◇学生発表会(東地区)	12/16～17(じばさんびる)	3/7(中央大学)
(西地区)		3/7(岡山大学)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
12月 December			
2	セミナー「マイクロプロセス最前線シリーズ～マイクロリアクター利用の実態～」(大阪府)		10号14
2	2019年度コンビナート講習会「プラントのサイバーセキュリティ」(東京都)		11号10
2～3	「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(東京都)		8号10
3～4	粉体エンジニア早期養成講座【集じん】(静岡県)		6号9
3～4	第53回 化学工学の進歩講習会「最新情報技術活用によるプロセス産業スマート化－AI, IoT, MIの基礎から最前線まで－」(愛知県)		10号13
4	2019年度化学工学会関東支部若手の会講演会(東京都)		11号11
5～6	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(東京都)		9号10
6	第27回静岡フォーラム・第52回研究交流セミナー 「持続可能社会に向けたCO ₂ 削減の推進」(静岡県)		10号14
7	第7回ケミカルエンジニアリング・カフェ(東京都)		11号8
10	シンポジウム「5G及び次世代高周波無線通信で使用される材料・プロセス技術」(東京都)		10号12
11	第122回技術懇談会(東京都)	12月4日(水)	11号8
12	開発型企業の会 2019年度第4回拡大技術交流会(東京都)	12月5日(木)	
16～17	化学工学会姫路大会2019(兵庫県)		本号7
19	近化電池セミナー「革新型蓄電池の現状と展望」(大阪府)		11号13
21	第10回 福島地区CEセミナー(福島県)	12月16日(月)	11号10
2020年1月 January			
9	第106回講演見学会 「繊維技術・利用の最先端：ミズノテクニクス(株)・浅野燃糸(株)の取り組み」(岐阜県)	12月24日(火)	本号7
10	化学工学一関セミナー(岩手県)	1月7日(火)	本号7
15	重合工学レクチャーシリーズNo.7「高分子微粒子の製造・機能化からプロセス開発まで」 (大阪府)	1月10日(金)	本号11
20	化学装置材料部会 公開講演(東京都)	1月13日(月)	本号6
20～21	最近の化学工学講習会68「塗布・乾燥技術の基礎とものづくり」(東京都)		11号11
21	第51回CEシリーズ講習会「AI・IoT・ビッグデータ活用の基礎とプロセスへの実装」(東京都)		11号12
22	第27回化学工学イノベーション研究会～次世代再生医療の実現に向けた化学工学の役割～ (大阪府)		本号11
23～24	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		9号10
24	第22回企業と大学・高専の人材育成懇談会(福岡県)	12月13日(金)	11号13

24～25	第29回化学工学・粉体工学研究発表会(北海道)	12月20日(金)	本号7
27～29	「反応器の設計」講座(東京都)		9号10
28～29	第26回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム Mate2020 (神奈川県)		
29	クローズアップシリーズ2019「CFDと先進解析技術の融合」(東京都)		11号12
30	関西支部・和歌山地区共催セミナー「プロセス安全の最新動向」(和歌山県)		本号11
30～31	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		6号9
30～31	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		9号11
31	第16回分離プロセス基礎講座－膜分離プロセスの基礎と応用－(東京都)	1月17日(金)	本号6
31	第32回CES21講演会「令和に輝く新素材－未来の扉をこじ開ける熱きエンジニア－」(大阪府)		本号11
2020年2月 February			
6	開発型企業の会 2019年度第5回技術交流会(東京都)	1月30日(木)	
6～7	GMPセミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向：講演会&見学会～連続製造技術と装置設計における品質保証～」(大阪府)	1月8日(水)	本号12
7	第18回上席化学工学技士交流会(大阪)(大阪府)	2月4日(火)	本号5
8	第4回「しごとの常識」塾 ～基本編①感受性～(京都府)	2月3日(月)	本号5
2020年3月 March			
7	第22回化学工学会学生発表会東京大会(東京都)	12月6日(金)	10号10
7	第22回化学工学会学生発表会岡山大会(岡山県)	12月6日(金)	10号10
14	第5回「しごとの常識」塾 ～応用編①情報としごと～(大阪府)	3月9日(月)	本号5
15～17	化学工学会第85年会(大阪府)	申込締切 12月22日(日)	本号5
2020年9月 September			
24～26	化学工学会第51回秋季大会(岩手県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
12月7日	第32回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2019) (韓国大田市)		7号16

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
国際周期表年2019 記念事業(東京都)	2月23日～ 12月5日(土～木)	国際周期表年実行 委員会	info@iypt.jp http://iypt.jp
The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flow (ICJWSF-2019) (香港)	12月1～5日 (日～木)	ICJWSF-2019 組 織 委員会	(852)2358-7184 ((852)2358-1543) icjwsf@ust.hk http://icjwsf2019.ust.hk
原子力総合シンポジウム2019(東京都)	12月2日(月)	日本学術会議 総合 工学委員会 原子力 安全に関する分科 会	03-3508-1261 (03-3581-6128) kikaku@aesj.or.jp
第9回潜熱工学シンポジウム(茨城県)	12月2～3日 (月～火)	日本潜熱工学研究 会	0294-38-5035 yanrong.li.mech@vc.ibaraki.ac.jp http://www2.kobe-u.ac.jp/~hidema/latentheat/9thLatentheatSympo/9thSym-index.html
第39回水素エネルギー協会大会(東京都)	12月2～3日 (月～火)	水素エネルギー協 会	secretary@hess.jp http://www.hess.jp

第39回レオロジー講座－基礎と測定法－(京都府)	12月4～5日 (水～木)	日本レオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第35回ゼオライト研究発表会(東京都)	12月5～6日 (木～金)	日本ゼオライト学会	046-841-3810 knishi@nda.ac.jp https://www.jza-online.org/
第45回腐食防食入門講習会(東京都)	12月5～6日 (木～金)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) naito-113-0033@jcorr.or.jp
Salt & Seawater Science Seminar 2019(神奈川県)	12月6日(金)	公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所	0465-47-3161 (046548-6242) kouenkai@shiojigyo.or.jp https://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/
日本学術会議公開シンポジウム 「第5回理論応用力学シンポジウム」(東京都)	12月9日(月)	日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同力学基盤工学分科会	06-6879-7249 (06-6879-7249) kajisima@mech.eng.osaka-u.ac.jp
第33回分子シミュレーション討論会(愛知県)	12月9～11日 (月～水)	分子シミュレーション学会	sympo@mol-sim.jp http://sympo.mol-sim.jp/mssj33/
第7回アジアバイオマス科学会議(福島県)	12月10日(火)	日本エネルギー学会 バイオマス部会	acbs2019@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/703/
第15回バイオマス科学会議(福島県)	12月11～12日 (水～木)	日本エネルギー学会 バイオマス学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) fukuda_jie1921@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/publics/index/676
技術セミナー 金属材料の高圧水素適合性判断技術 ～高圧水素機器の安全性と経済性の両立を目指して～ (東京都)	12月12日(木)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/
第170回講演会 東工大・鞠谷研をのぞいてみよう(東京都)	12月12日(木)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jspp.or.jp http://www.jspp.or.jp
第189回腐食防食シンポジウム 「電気化学インピーダンス法の基礎とその適用事例」 (東京都)	12月12日(木)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
プラント運転の安全と高度化を考える講演会2019 (神奈川県)	12月13日(金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-3145) tanaka@sice.or.jp https://www.sice.or.jp/bukai_web_appli/sindex.html
石油化学部会シンポジウム 世界を変える石油化学とリサイクル～循環型社会の構築に向けて～(東京都)	12月16日(月)	石油学会	03-6206-4301 (03-6206-4302) member@sekiyu-gakkai.or.jp https://www.sekiyu-gakkai.or.jp/jp/gyouji/20191216.html
2019プロセス安全シンポジウム四日市大会 ～日本のプロセス安全の新たな境地をめざして～ (三重県)	12月16日(月)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/
進化を遂げる μ -TAS lab-on-a-chip organ-on-a-chip (神奈川県)	12月16～18日 (月～水)	神奈川県立産業技術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) ed@newkast.or.jp https://www.kanagawa-iri.jp/human_res_devl/ed31_seminar_13/
革新的環境技術シンポジウム2019 ～脱炭素社会に向けたチャレンジ～(東京都)	12月18日(水)	地球環境産業技術研究機構	0774-75-2301 (0774-75-2314) pub_rite@rite.or.jp
第32回バイオエンジニアリング講演会(石川県)	12月20～21日 (金～土)	日本機械学会 バイオエンジニアリング部門	bioconf19-2@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf19-2/

第20回アジア微粒化会議および 第28回微粒化シンポジウム(山口県)	12月21～23日 (土～月)	日本液体微粒化学 会(ILASS-Japan)・ 日本エネルギー学 会・ILASS-Asia	http://www.ilass-japan.gr.jp/english/activity/ILASS-Asia2019/
第31回高分子ゲル研究討論会(東京都)	2020年1月 16～17日(木～金)	高分子学会高分子 ゲル研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) resgl@spsj.or.jp http://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/gels.php
トライボロジーの最前線ーナノトライボロジーその場計 測ー(大阪府)	2020年1月17日(金)	表面技術協会 関西 支部, 日本表面真 空学会 関西支部	075-781-1107 (075-791-7659) kansai-office@sfj.or.jp http://www.sssj.org/Kansai/goudou20117.html
革新的CO ₂ 分離回収技術シンポジウム～地球温暖化防止 に貢献する固体吸収材及び膜による分離回収技術の最新 動向～(東京都)	2020年1月20日(月)	地球環境産業技術 研究機構・次世代 型膜モジュール技 術研究組合	0774-75-2305 (0774-75-2318) mgmsympo@rite.or.jp
炭素材料学会1月セミナー(東京都)	2020年1月24日(金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-koshukai@bunken.co.jp http://tanso.org/contents/event/seminar/january_2020.html
日本伝熱学会関東支部セミナー「分野外の技術者にもわか る伝熱工学ー最新の研究事例紹介ー」(東京都)	2020年1月24日(金)	日本伝熱学会 関東 支部	042-388-7089 (042-388-7089) murata@cc.tuat.ac.jp http://www.htsj.or.jp/announcement/1946.html
第25回高専シンポジウム in Kurume(福岡県)	2020年1月25日(土)	高専シンポジウム 協議会, 久留米工 業高等専門学校	0942-35-9300 (0942-35-9425) sympo25@kurume-nct.ac.jp http://www.cc.kurume-nct.ac.jp/sympo25/
第32回自律分散システム・シンポジウム(東京都)	2020年1月 25～26日(土～日)	計測自動制御学会 システム・情報部 門	042-388-7699 syano@cc.tuat.ac.jp http://sites.google.com/a/sice-das.org/das32th
第41回安全工学セミナー「安全マネジメント講座」 (東京都)	2020年1月27～ 28日(月～火)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第36回エネルギーシステム・経済・環境・コンファレン ス(東京都)	2020年1月28～ 29日(火～水)	エネルギー・資源 学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jser.gr.jp
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020)(兵庫県)	2020年3月 8～11日(日～水)	COMPSAFE2020実 行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org
第12回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用 に関する国際シンポジウム(ISPlasma2020) / 第13回プラ ズマナノ科学技術国際会議(IC-PLANTS2020)(愛知県)	2020年3月 8～11日(日～水)	応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2020@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
第70回粉体技術専門講座～食品粉体に関わる先端技術～ (東京都)	2020年3月13日(金)	日本粉体工業技術 協会	075-354-3581 (075-352-8530) senmon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=senmon1
生産システム部門研究発表講演会2020(東京都)	2020年3月 26～27日(木～金)	日本機械学会	03-5360-3503 (03-5360-3508) kumagai@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/msd/
第57回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	2020年7月 7～9日(火～木)	日本アイソトープ 協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) gakujutsu@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/
2020環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020) (ハワイ州ホノルル)	2020年12月15～ 20日(火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org

第85年会「一般研究発表(口頭・ポスター)」講演申込締切のお知らせ

講演申込締切：2019年12月22日(日)23:59
大会webサイトからのお申し込みに限ります。
<http://www3.scej.org/meeting/85a/>
講演要旨原稿提出期間：2020年1月6日(月)～2月15日(土)23:59必着
開催：2020年3月15日(日)～17日(火)
会場：関西大学 千里山キャンパス
(詳細は10月号会告を参照ください。)

○発表形式(口頭、ポスター)について
学生会員・海外学生会員はポスターセッションで発表していただきます。ただし、学生会員・海外学生会員のうち、博士課程(但し前期課程を除く)学生に限りポスター発表と口頭発表を選択できます。講演申込においてご注意ください。なお、正会員、教育会員、海外正会員、海外連携会員、法人会員(維持会員、特別会員、特別地区会員)に属する社員の方は、口頭発表、ポスター発表のいずれにもお申込みいただけます。

○口頭発表時の投影物およびポスターでの使用言語について
本大会では、学術発表の口頭発表時の投影物およびポスターでの使用言語を原則として英語とします。ただし対象外となるシンポジウム/セッションがありますので、詳しくは大会webサイトでご確認ください。
詳細は、大会webサイト (<http://www3.scej.org/meeting/85a/>) をご参照ください。

問合せ先

化学工学会第85年会実行委員会
E-mail : inquiry-85a@www3.scej.org

人材育成センター

第20回上席化学工学技士交流会 (大阪)

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

2006年度に技術者資格制度が発足して以来、2019年までに191名の方が上席化学工学技士の資格を取得されました。

近郊の技士の方々の交流を図って2014年7月に始めた上席化学工学技士交流会も、回を重ねてきて参加の皆様との交流の輪も広がり、今では東京と大阪の2か所で年4回開催されるようになりました。

いずれの会も活発にしかも和やかな雰囲気のもと、意見交換がなされてきました。

今後とも東京、大阪の両方で上席化学工学技士の方たちの交流の輪を、益々広がり深めて行きたいと思っています。

皆様の積極的なご参加によって、その交流の輪が広がり、本会がさらに素晴らしい会に発展し、定着することを希望致しております。是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時 2020年2月7日(金)13:30～17:00
場所 大阪科学技術センター6F 601号室
(〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4)
<http://www.ostec.or.jp/data/access.html>
地下鉄御堂筋線「本町」駅2番出口徒歩3分、四つ橋線「本町」駅28番出口徒歩3分

対象 「上席化学工学技士」資格保有者
内容
1. 参加者自己紹介、名刺交換会(13:30～14:00)
2. 話題提供「若手スタッフ 生産技術力強化プロジェクト(桃太郎プロジェクト)の紹介」(14:00～15:20)
上席化学工学技士(三菱ケミカル(株))
岡崎正寿氏
3. SPCE'sフォーラム(15:30～17:00)
(1)「知的生産性の高い技術者」の育成を目指す「しごとの常識」塾の紹介

化学工学会名誉会員、資格制度委員会顧問
住友ベークライト(株)元取締役専務執行役員
伊藤真一郎氏
(2)テーマ(当日の話題から)
「技術伝承、若手育成」などについて意見交換
司会：上席化学工学技士((株)カネカ)
古川龍二氏

《移動》
4. 交流懇親会(17:30～19:00)

募集定員 24名(定員になり次第締切)
参加費 4,000円(当日会場受付でお支払下さい)
申込方法 化学工学会ホームページよりお申し込み下さい。
問い合わせ先
公益社団法人化学工学会人材育成センター
資格制度委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail : qualification@atmark.scej.org
TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

「しごとの常識」塾のご案内

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

化学工学会人材育成センターでは、「化学工学技士」資格者のキャリアアップ、現役力強化を支援する目的で、プレミアム講座「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」を開講致します。

プレミアム講座は、「しごとの常識」塾と特別教室で構成されており、「しごとの常識」塾では、キャリアアップのための実務能力を得るための基本的な知的情報を対話形式で提供します。

対象 「化学工学技士」資格保有者
講習目標 「しごとの常識」塾の入塾者には、基本編、中堅編、上級編を通して、それぞれ以下のようなテーマによるディスカッションを

通して、マインドセット涵養の動機を与え、多様性と外発性が備わった自由な発想ができる「知的生産性の高い技術者」を目指すことを促します(心・体・理・知・行のバランスのとれた胆力)。

プログラム構成

- ◆基本編
(1)感受性：判断について
(2)チームワーク：作業について
(3)ボトムアップ：意思決定について
- ◆応用編
(1)情報としごと：知識について
(2)IT革命とグローバル化：昭和と平成のしごと
(3)技術革新：胆力について(市場、対象、理論と経験など)
- ◆上級編
(1)有事と平時のしごと：組織のしくみ
(2)リーダーシップとフォロワーシップ：立場と役割
(3)リソース(ヒト・モノ・カネ・知識・行動様式)：組織力、人材育成

※2020年は基本編と応用編を平行して全国各地で開催してゆく計画です。

第4回「しごとの常識」塾 ～基本編①感受性～

日時 2020年2月8日(土)13:00～17:30
場所 京都テルサ 東館1F 第11会議室
〒600-8216 京都市南区東九条下殿田町70
JR各線「京都駅」(八条口西口)より南へ徒歩約15分。近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分。京都市営地下鉄烏丸線九条駅4番出口より西へ徒歩約5分
<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/parking/>

講座内容
1. 塾概要および講師紹介

2. テーマ『感受性』の説明
 3. しごとの常識とテーマ『感受性』について対話により理解を深める
 4. テーマ『感受性』と知的生産性(アイデア産出性)の関係を理解する
 講師 伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取締役専務執行役員, 化学工学会名誉会員)
 募集定員 12名(定員になり次第締切)
 参加費(税込) 基本編, 中堅編, 上級編を通して, 初回5,000円(入塾料1,000円含む), 2回目以降は4,000円/回。当日会場受付でお支払下さい。
 申込方法 ブラウザに直接下記URLを入力して頂くか, 化学工学会ホームページより「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申込」と辿って頂き, 行事リストからお申込みください。
<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/740>
 問い合わせ先
 公益社団法人化学工学会人材育成センター資格制度委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
 E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

第5回「しごとの常識」塾 ～応用編①情報としごと～

- 日時 2020年3月14日(土)13:00～17:30
 会場 大阪科学技術センター 7F 703号室
 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
 地下鉄御堂筋線「本町」駅2番出口徒歩7分, 四つ橋線「本町」駅28番出口徒歩3分
<http://www.ostec.or.jp/data/access.html>
 講座内容
 1. 塾概要および講師紹介
 2. テーマ『情報としごと』の説明
 3. しごとの常識とテーマ『情報としごと』について対話により理解を深める

4. テーマ『情報としごと』と知的生産性(アイデア産出性)の関係を理解する
 講師 伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取締役専務執行役員, 化学工学会名誉会員)
 募集定員 12名(定員になり次第締切)
 参加費(税込) 基本編, 中堅編, 上級編を通して, 初回5,000円(入塾料1,000円含む), 2回目以降は4,000円/回。当日会場受付でお支払下さい。
 申込方法 ブラウザに直接下記URLを入力して頂くか, 化学工学会ホームページより「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申込」と辿って頂き, 行事リストからお申込みください。
<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/741>
 問い合わせ先
 公益社団法人化学工学会人材育成センター資格制度委員会
 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
 E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

部 会 C T

化学装置材料部会 公開講演

主催 化学工学会 化学装置材料部会
 日時 2020年1月20日(月)14:10～16:45
 (受付13:45～14:10)
 場所 東京工業大学大岡山キャンパス南1号館215会議室
<https://www.titech.ac.jp/maps/ookayama/ookayama.html>

趣旨

化学装置材料部会有機材料分科会 (<http://www.chemeng.titech.ac.jp/~CPME/>)では, 国内外のプラント設備等の有機材料の補修についての調査, 勉強会, 啓蒙活動に取り組んでおります。有機材料による補修に関する国際規格を交えながら, 国内・海外における補修の事例や, 補修に使用される材料について具体例を紹介いたします。プラント設備の操業やメンテナンスの実務に携わる方々に向けた講演となっております。また講演間に休憩を挟んでおりますので, 参加者間での積極的な交流が生まれれば幸いです。奮ってご参加ください。

プログラム

- 14:10～14:15 開会挨拶
 14:15～15:05 有機材料を用いた補修における国内の事例と実務の紹介
 昭和電工(株) 谷口芳弘氏
 15:05～15:15 休憩
 15:15～15:45 プラント設備補修に用いられる有機材料の紹介
 昭和電工(株) 坂口陽一郎氏
 15:45～15:55 休憩
 15:55～16:45 有機材料による国際規格に準じたプラント設備補修方法と国内外の事例
 (株)土井製作所 嘉悦 崇氏

参加費 一般 10,000円, 化学装置材料部会会員 5,000円, 有機材料分科会会員 無料
 ※当日受付にて現金でお支払いください。
 申込締切 2020年1月13日
 申込・問合せ先 参加をご希望の方は, ①お名前②ご所属③連絡先(所在地, TEL, E-mail)をご記入の上, 下記連絡先にE-mailにてお申込みください。
 有機材料分科会主査 梅田 勇(第一高周波工業(株))
 E-mail: i-umeda@dhf.co.jp

第16回分離プロセス基礎講座 ー膜分離プロセスの基礎と応用ー

主催 化学工学会分離プロセス部会
 協賛 日本膜学会, 分離技術会, 化学工学会分離プロセス部会膜工学分科会

化学工学会分離プロセス部会では, この分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師にお招きして, 分離プロセスの基礎を平易に解説する「分離プロセス基礎講座」を年一回の開催いたしております。技術者のリフレッシュ教育, 新入社員教育等にお役立て下さい。

第16回基礎講座では, 膜分離を取り上げます。膜分離は, 省エネルギー分離プロセスとして知られ, 造水や排水処理, 溶質のろ過分離, 有機溶剤の脱水, 各種ガス分離といったプロセスなどで用いられる重要な分離技術です。この基礎講座では, ガス分離と液体分離の基礎, 膜材料と膜分離装置および膜分離プロセス, 膜分離技術の応用などに関して, 化学工学を専門としない方にも理解できるように, 基礎的事項に重点を置いて解説します。

日時 2020年1月31日(金)10:20～16:50(9:50受付開始, 17:00終了予定)
 会場 工学院大学新宿キャンパス 5階 B0563教室
 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2
 TEL: 03-3340-0121
 JR「新宿駅」西口より徒歩5分, 詳細は工学院大学のホームページでご確認ください。
<https://www.kogakuin.ac.jp/campus/access.html>

講座内容および講師

- 1) 無機膜の調製と気体分離(10:20～11:20)
 (芝浦工業大学)野村幹弘氏
- 2) 気体分離膜プロセスの基礎(11:30～12:30)
 (産総研)原谷賢治氏
- 3) 多孔質膜による液体分離の基礎(13:30～14:30)
 (工学院大学)赤松憲樹氏
- 4) 高分子膜による水処理の基礎と応用(14:40～15:40)
 (神戸大学)新谷卓司氏
- 5) 膜分離の超純水製造プロセスへの応用(15:50～16:50)
 (栗田工業)川勝孝博氏

参加費 一般・協賛学会員 10,000円, 非会員 15,000円, 学生 3,000円(当日払い)
 申込方法 所属, 氏名, 連絡先, 電話番号, メールアドレス, 会員の有無を明記の上, メールにて, 2020年1月17日(金)までに, 下記までお申し込みください。
 申込先 化学工学会 分離プロセス部会 膜工学分科会事務局 担当: 三宅(Miyake)
 E-mail: miyake@silver.kobe-u.ac.jp
 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
 TEL&FAX: 078-803-6610

地域 C T



北海道支部

第29回化学工学・粉体工学 研究発表会

主催 (公社)化学工学会北海道支部, 粉体工学会北海道談話会, 化学工学北海道懇話会
協賛 (公社)北海道科学技術総合振興センター, (一社)北海道バイオ工業会

日時 発表会: 2020年1月24日(金) 13:00~17:00, 25日(土)9:00~12:00(予定)
懇親会: 2020年1月24日(金) 18:00~20:00

会場 発表会: 苫小牧経済センター6F大ホール(苫小牧市表町1-1-13, TEL:0144-33-5454)
懇親会: ホテルウイングインターナショナル苫小牧(苫小牧市表町5-7-1, TEL:0144-33-0333)

発表形式

一般講演 口頭発表, 討論含めて1件15分を予定(1鈴10分, 2鈴12分, 3鈴14分)

特別講演 北海道大学工学研究院 教授 増田隆夫氏(演題:未定)

発表申込方法(締切:2019年12月20日(金))

発表題目, 著者(発表者に○), 所属, 連絡者名, 郵便番号, 連絡先, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレスを書いて, 下記申込先にE-mailまたはFAXにてお申し込み下さい。

予稿原稿作成・提出要領

(締切:2020年1月10日(金))

A4用紙4頁以内の原稿(書式自由)を作成の上, PDFファイルを下記申込先にE-mailでお送り下さい。

参加申込方法(締切:2020年1月17日(金))

参加者氏名, 所属, 郵便番号, 連絡先, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス, 懇親会の参加有無を書いて, 下記申込先にE-mailまたはFAXにてお申し込み下さい。

参加費 発表会:一般1,000円(予稿集代), 学生無料
懇親会:一般4,000円, 学生2,000円

申込先

〒050-8585 北海道室蘭市水元町27-1 室蘭工業大学大学院工学研究科しくみ解明系領域 下村拓也
TEL:0143-46-5740 FAX:0143-46-5701
E-mail:t-shimo@mmm.muroran-it.ac.jp



東北支部

講演会の参加募集 第29回化学工学-関セミナー -環境エネルギー技術, SDGsを目指して-

主催 岩手化学工学懇話会, 一関高専未来創造工学科化学・バイオ系
共催 化学工学会東北支部, 一関高専教育研究振興会

日時 2020年1月10日(金)14:30~17:00
会場 一関高専 第一講義室(一関市萩荘字高梨) 一ノ関駅よりタクシー約10分

プログラム

開会挨拶(14:30~14:35)
講演①「リチウムイオン二次電池用電極材料の開発(仮題)」(14:35~15:45)
八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 マテリアル・バイオコース 門磨義浩氏
講演②「省エネルギー型膜分離プロセスの設計と経済性評価」(15:50~17:00)
山形大学大学院理工学研究科 松田圭悟氏

参加費 無料

申込締切 1月7日(火), 当日受付も可

申込み先

〒021-8511 一関市萩荘字高梨 一関高専未来創造工学科 化学・バイオ系 二階堂 満
TEL:0191-24-4777 FAX:0191-24-2146
E-mail:nikaido@ichinoseki.ac.jp



東海支部

第106回講演見学会 「繊維技術・利用の最先端: ミズノテクニクス(株)・浅野燃系(株) の取り組み」

今回の工場見学は「繊維技術・利用の最先端」と銘打ち, 炭素繊維を原料とし最先端スポーツ用品を製造されているミズノテクニクス(株)(養老工場)と「カンブリア宮殿」や「おはよう日本」などで話題となっているエアークオの製造元である浅野燃系(株)の工場見学を実施いたします。

ミズノテクニクス(株)(養老工場)ではCFRPを利用したゴルフシャフトや球界の名選手を生み出してきたバットの製造工程を見学させていただくとともに, 2020年東京オリンピックにおけるミズノテクノロジーについてご紹介をいただきます。

浅野燃系(株)ではV字回復をもたらした魔法の燃系「super zero」の開発についてご講演いただくとともに, その生産現場をご覧いただきます。最先端の繊維の生産技術, 生産ライン, そして新製品が生まれる開発の現場を見ることができる最大のチャンスですので, 是非多数の方にご参加いただきたく存じます。

主催 公益社団法人 化学工学会東海支部
協賛 化学工学会熱工学部会, 化学工学会環境部会, 静岡化学工学懇話会, 東海化学工業会, 日本機械学会東海支部, 日本エネルギー学会, 繊維学会, 日本繊維機械学会, セルロース学会東海・北陸支部, 日本繊維技術士センター東海支部, 高分子学会東海支部, 日本繊維製品消費科学会, プラスチック成形加工学会, 化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会

日時 2020年1月9日(木)12:15~17:45
場所 ミズノテクニクス(株) 岐阜県養老郡養老町高田307-5
浅野燃系(株) 岐阜県安八郡安八町中

875-1

集合 JR大垣駅改札口に12:15に集合後, マイクロバスにて移動(昼食は事前にお済ませください)。

スケジュール

12:15 JR大垣駅 改札口集合
12:25~12:50 マイクロバスにてミズノテクニクス(株)(養老工場)に移動
13:00~14:40 ミズノテクニクス(株)工場見学
14:45~15:10 マイクロバスにて浅野燃系(株)に移動
15:15~17:00 浅野燃系(株) 浅野氏 講演および工場見学
17:10~17:40 JR大垣駅に移動
17:45 解散

参加費 化学工学会会員及び協賛団体会員:2,500円, 学生会員:2,000円, 会員外:5,000円
会費(消費税を含む)は現地にてお支払い下さい(領収書を発行します)。

定員 26名(定員になり次第, 締め切ります。同業者はお断りする場合がございます)

申込締切 2019年12月24日(火)

申込方法 下記ホームページにアクセスし, 「参加申込フォーム」にてお申し込みください。

問合せ先 公益社団法人 化学工学会東海支部
TEL:080-4525-3070

ホームページ <http://scej-tokai.org/>



関西支部

化学工学会姫路大会2019 講演プログラム

主催 化学工学会関西支部
共催 播磨産業懇話会, 化学工学会中国・四国支部
協賛 粉体工学会, 日本機械学会関西支部, 近畿化学協会, 日本接着学会関西支部
後援 姫路商工会議所, 姫路市コンベンションビューロー, 兵庫県立大学

日時 2019年12月16日(月)~17日(火)
会場 じばさんびる
〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町123番(交通)JR姫路駅より徒歩約3分

懇親会

日時 12月16日(月)18:00~20:00(予定)
会場 ホテル日航姫路
〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町100番(交通)会場から徒歩1分, JR姫路駅より徒歩約3分

最新のプログラムおよび参加のご案内大会webサイトにて随時公開いたします。
<http://www3.scej.org/meeting/ks2019/>

問合せ先

化学工学会姫路大会2019実行委員会(化学工学会関西支部内)
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

	12月16日			12月17日	
	10:00～11:40	12:00～15:00	15:30～17:00	10:00～12:20	13:20～15:20
A会場 501	分離			分離プロセス	
B会場 502	バイオ			バイオ	環境エネルギー
C会場 601	材料・界面			材料・界面	
D会場 602	粒子・流体			粒子・流体	反応工学
E会場 603	環境エネルギー			エネルギー・エレクトロニクス・ 環境・高領域	
P会場 901		企業+学生・留学生 国際交流(ポスター)	播磨産業フォー ラム		

講演プログラム

— A会場 —

— 第1日 —

[一般講演]

(10:00～11:40)

- A104 有機キレート配位子を利用したチタニア-ジルコニア複合膜の細孔径制御
(神戸大院工/先端膜セ)(学)○家迫遼介・
(神戸大院科技イノベ/先端膜セ)(正)吉岡朋久・
(正)中川敏三・(正)新谷卓司・
(神戸大院工/先端膜セ)(正)神尾英治・
(正)松山秀人
- A105 炭化水素分離のためのフッ素ドーパブル
ガノシリカ膜の細孔径制御
(広大院工)(学)○竹中麻里・(正)金指正言・
(正)長澤寛規・(正)都留稔了
- A106 大気圧プラズマCVD条件がシリカ膜の膜
構造および気体透過特性に及ぼす影響
(広大院工)(学)○登尾拓史・(正)長澤寛規・
(正)金指正言・(正)都留稔了
- A107 AFX型ゼオライトの膜の調製と生成機構
(関西大環都工)(学)○前川幸輝・
(日立造船)(法)今坂怜史・(法)来田康司・
(関西大環都工)(正)山本秀樹・(正)荒木貞夫
- A108 木タールを前駆体とする炭素膜の製膜条
件の検討
(山口大院創成科学)(学)○下村 匠・
(正)田中一宏・(正)喜多英敏・
(北見工大)鈴木 勉

— 第2日 —

[一般講演]

(10:00～12:20)

- A204 ゼオライト粒子含有高分子のガス透過選
択性に及ぼす製膜条件の影響
(山口大院創成科学)(学)○高橋講次・
(学)向井 湧・
(山口大院環境共生系)(学)劉 永生・
(山口大院創成科学)高田恭祐・(正)喜多英敏・
(正)田中一宏
- A205 ポリイミド中空糸炭素膜の熱分解炭素修
飾によるガス透過選択性の制御
(山口大院創成科学)(学)○吉澤典真・
(山口大院環境共生系)じょう せい・
(山口大院創成科学)田中智樹・(正)田中一宏
- A206 ガラス繊維フィルター式ガス吸収装置内
気液滞留時間分布の解析
(阪府大工)(正)○安田昌弘・(学)大安 晃・
(公害防止機器研)浅野 真・
(阪府大工)(正)萩野博康・
(阪府大高専)(正)平林大介
- A207 ガラス繊維フィルター脱硝装置による
NOxの水吸収シミュレーション

(阪府大工)(学)○今井 誠・
(阪府大高専)(正)平林大介・
(阪府大工)(正)安田昌弘・
(公害防止機器研)浅野 真

- A208 排ガスの化学吸収および平板型ガラス繊
維フィルター装置を用いた水酸化カリウ
ム水溶液を炭酸カリウム水溶液への完全
転換
(阪府大工)(学)○朱 樹為・
(公害防止機器研)浅野 真・
(阪府大工)(正)安田昌弘
- A209 有機ナノ多孔体の合成とセシウム吸着剤
としての性能評価
(兵庫県大院工)(学)○中谷知生・(正)田口翔悟・
(正)伊藤和宏・(正)前田光治・(正)山本拓司
- A210 Trapdoor吸着能を有するゼオライトの固
相転換合成
(関西大環都工)(正)○宮川紗奈・(学)田中俊輔
- [一般講演]
(13:20～15:20)
- A214 無電解ニッケル-リンめっき廃液のリサ
イクルプロセスの検討
(兵庫県大院工)(学)○吉田悠一郎・
(正)田口翔悟・(共)福室直樹・(共)八重真治・
(正)伊藤和宏・(正)前田光治・(正)山本拓司
- A215 テイラークエット流を用いたL-アラニン
の晶析
(徳大院工)(学)○菅 弘樹・
(京大院工)(正)外輪健一郎・
(徳大院工)(正)堀河俊英
- A216 振動流バッフル反応器の混合特性が冷却
晶析における結晶成長速度に及ぼす影響
(神戸大院工)(学)○谷川 仁・(正)堀江孝史・
(塩野義製薬)(法)増田勇紀・
(神戸大院工)(正)菰田悦之・(正)大村直人
- A217 ラテックス塗布膜の乾燥機構の違いが乾
燥応力に与える影響
(神戸大院工)(学)○田中宏明・(正)菰田悦之・
(正)鈴木航祐・(正)堀江孝史・(正)大村直人・
(正)今駒博信
- A218 凍結乾燥製品の吸湿に伴う構造変化と吸
湿動力学
(京大院工)(学)○神先宏樹・(正)中川究也・
(正)佐野紀彰・(正)鈴木哲夫
- A219 画像解析を用いた凍結乾燥製品中のマイ
クロコロプスの定量化
(京大院工)(学)○森下大輝・(正)佐野紀彰・
(正)鈴木哲夫・(正)中川究也

— B会場 —

— 第1日 —

[一般講演]

(10:00～11:40)

- B104 Reinforcement of nata-de-coco cellulose with
silk fibroin β -crystals

(EngSci.Osaka-U.) (学)○Carranza Mary Stephanie
Satiada・(正)Nakahata Masaki・

(正)Kojima Masaru・(正)Sakai Shinji

- B105 磁性ナノ粒子を含むグラフトポリマー粒
子を用いた細胞の三次元培養
(阪府大工)(学)○宇都宮瑞生・
(日大医)相澤 信・
(阪府大工)(正)萩野博康・(正)安田昌弘
- B106 Study on synthesis of Cu (II) -cysteine
dithiocarbamate and its potential as anti-
cancer agent for breast cancer (MCF-7)
(UNHAS)(学)○Desy Kartina・A. Wahid Wahab・
Ahyar Ahmad・Indah Raya・Rizal Irfandi・
(宮崎大工)(正)塩盛弘一郎
- B107 モデル消化環境下での薬物放出をトリ
ガーできるナノ構造多相脂質キャリアの
作製
(京大院農)(学)○大垣 蓮・小林 敬・
(京大院工)(正)中川究也

- B108 Modification of characteristic of protein
aggregates by freezing process
(京大)(学)○方 博文・(正)中川究也

— 第2日 —

[一般講演]

(10:00～12:20)

- B204 グリセロール流加を用いた組換え大腸菌
の流加培養による単鎖抗体の菌体外生産
(京工織大院工芸科学)(学)○川見菜実香・
(正)堀内淳一・(正)熊田陽一
- B205 Haematococcus pluvialisを用いたpH-stat流
加培養によるアスタキサンチンの効率的
生産
(京工織大院)(学)○山本麗奈・
(正)堀内淳一・(正)熊田陽一
- B206 未利用竹資源を原料としたXanthophyllo-
myces dendrorhousによる効率的アスタキ
サンチン生産
(京工織大院)(学)○津田哲昌・
(正)堀内淳一・(正)熊田陽一
- B207 未利用バイオマスを原料とした同時糖化
発酵による高濃度乳酸生産
(京工織大院)(学)○嶋崎伊武樹・
(正)堀内淳一・(正)熊田陽一
- B208 Stabilization of anti-CRP scFv production by
use of yeast extract enriched medium in DO-
stat fed-batch culture
(Kyoto Inst. Tech.)(学)○Nguyen Hieu Nghia・
(正)Kishimoto Michimasa・(正)Kumada Yoichi・
(正)Horiuchi Jun-ichi
- B209 ダウンストリームプロセスを効率化する
酵母変異株の構築
(阪市大院工)(学)○奥村一仁・
(正)尾島由紘・(正)東 雅之
- [シンポジウム(環境・エネルギーシンポジウム)]
(13:20～15:20)
- B214 低温化学蓄熱のためのLiOH/MPC複合材
料の調製
(金沢大院自然)(学)○西澤惇矢・
(名大院工)(正)窪田光宏・
(金沢大理工)(正)東 秀憲・(正)瀬戸章文・
(正)大谷吉生・(正)汲田幹夫
- B215 大気圧プラズマ処理カーボンナノチュー
ブを電極に用いた亜鉛空気電池に関する
研究
(京大工)(学)○謝 豪霆・(正)佐野紀彰・
(正)中川究也・(京大)(正)鈴木哲夫
- B216 非水系及び水系濃度差発電の基礎研究
(大工大)(学)○水内智貴・(学)衣笠太一・
(正)宮本 均
- B217 マイクロバブルによる浮上分離を利用した
廃シリコンスラッジからのナノ粒子分級
(関西大理工)(学)○村川和夫・
(正)木下卓也・(正)岡田芳樹
- B218 QCM法によるPOPs類のヘンリー定数の

測定
(兵庫県大工)(学)○山下 椋太・
(兵庫県大院工)(正)前田 光治・
(国環研)(正)倉持秀敏・
(兵庫県大院工)(正)新船幸二・
(正)伊藤和宏・(正)山本拓司

B219 高圧力下における二次電池の充放電特性
(兵庫県大工)(学)○平川希実・
(兵庫県大院工)(正)前田 光治・(共)八重真治・
(共)福室直樹・(共)松本 渉・
(国環研)(正)倉持秀敏

— C会場—

—第1日—
[一般講演]
(10:40～11:40)

C106 反応拡散を用いた金属ナノ粒子合成にお
ける粒子形成機構の解明
(同志社大理工)(学)○大林健人・
(正)名和愛利香・(正)山本大吾・(正)塩井章久

C107 AFMを用いた層状多孔性配位錯体の構造
変形に伴う応力の直接測定
(京大院工)(学)○永井和宏・(正)渡邊 哲・
(正)宮原 稔

C108 固体表面間付着力に与える接触時間及び
湿度の影響
(同志社大理工)○大野純平・(正)土屋活美・
(正)森 康維

—第2日—
[一般講演]
(10:00～12:20)

C204 酸化チタンスラリーの粘弾性がグラビ
ア印刷のかきとり挙動に及ぼす影響
(神戸大院工)(学)○山本竜樹・(正)菰田悦之・
(正)鈴木航祐・(正)堀江孝史・(正)大村直人

C205 酸化亜鉛を用いた高比表面積メソポー
ラスカーボンの合成
(関西大環都工)○別所泰成・渡辺大輝・
(正)田中俊輔

C206 シワ構造を持つポリジメチルシロキサ
ン(PDMS)微粒子の生産と形状特性評価
(神戸大院工)(学)○平松優貴・(正)鈴木航祐・
(正)堀江孝史・(正)菰田悦之・(正)大村直人

C207 超臨界CO₂Sを用いた噴霧乾燥法による
カフェイン微粒子創製における結晶化現象
(金沢大院自然)(学)○山下智進・(学)Xie Bo・
(金沢大理工)(正)内田博久

C208 マイクロ波迅速賦活法による活性炭作製
における細孔生成に関する検討
(京大工)(学)○Kuptajit Purichaya・(正)佐野紀彰・
(正)中川究也・(京大)(正)鈴木哲夫

C209 電気泳動堆積法によるシリカ粒子の規則
的堆積
(同志社大理工)○山本真大・(正)土屋活美・
(正)森 康維

C210 酢酸および炭酸リチウムを用いた高純度
LiOH₂O新規製造プロセスの開発
(関西大環都工)(学)○城ノ下朗典・
(正)山本秀樹

[一般講演]
(13:20～15:00)

C214 不均一系RAFT重合による高分子微粒子
の合成
(岡山大院自)(学)○川口 佳・
(正)渡邊貴一・(正)小野 努

C215 連続晶析プロセスにおけるスラグ流が晶
析挙動に与える影響
(岡山大院自)(学)○神吉翔太・
(正)渡邊貴一・(正)小野 努

C216 L-アラニンの不均一核化におよぼすポリ
プロピレンの多形の影響
(阪市大工)(学)○寺坂晴希・
(阪市大院工)(正)五十嵐幸一

C217 マイクロ晶析器を用いた超臨界貧溶媒晶
析による薬物の粒子創製に対する操作因

子の影響
(金沢大院自然)(学)○山本朔加・
(学)笠原奈々美・(金沢大理工)(正)内田博久

C218 高温プラズマによるナノ粒子生成過程の
解析
(金沢大院自然研)(学)○竹中祐作・
(金沢大理工)(正)瀬戸章文・
(正)東 秀憲・田中康規・
(金沢大院自然研)隠田一輝・明石恵太

— D会場—

—第1日—
[一般講演]
(10:00～11:40)

D104 ソフトウェアOpenFOAMを使用した粘弾
性液体の自由界面流れ解析
(兵庫県大)(学)○植村聡志・(正)伊藤和宏・
(正)田口翔悟・(正)山本拓司・(正)前田光治

D105 小型エアリフトポンプの基礎実験と性能
評価モデル
(兵庫県大)(学)○上月直人・(正)伊藤和宏・
(正)田口翔悟・(正)山本拓司・(正)前田光治

D106 水中小型エアレータによる微細藻類の培
養
(兵庫県大)(学)○岡本泰知・(正)伊藤和宏・
(アイエンス)吉田憲史・
(兵庫県大)(正)田口翔悟・(正)山本拓司・
(正)前田光治

D107 粉体圧縮成形時の金型内底面および側面
への伝播圧力に及ぼす粉体特性の影響
(岡山大院自)(学)○小林亮太・(正)後藤邦彰・
(正)三野泰志・(正)中曾浩一

D108 粉体攪拌プロセスにおける添加液体が分
散挙動に及ぼす粘度の影響
(岡山大院自)(学)○新倉九也・(正)三野泰志・
(正)中曾浩一・(正)後藤邦彰

—第2日—
[一般講演]
(10:00～12:20)

D204 界面活性剤水溶液のDR効果に及ぼす管
付属物の影響
(山口大院)○鎌矢良平・(正)貝出 絢・
(正)佐伯 隆

D205 混合指標を用いたスタティックミキサー
の特性評価と性能改善
(山口大院)○沖田裕士・(正)貝出 絢・
(正)佐伯 隆

D206 X線CT画像を連携したO/Wエマルシ
ョンのフィルター透過シミュレーション:
フィルター構造の影響
(広大院工)○上田真幹・
Rozy Mohammad Irwan Fatkhur・
(正)深澤智典・(正)石神 徹・(正)福井国博

D207 加熱壁面上での氷の溶融挙動の数値解析
(徳島大院先端教育部)○清水亮介・
(徳島大院社会産業理工)(正)太田光浩

D208 Shear-thinning流体中における液滴の剪断
変形・分裂現象に対する有効無次元数
(徳島大院先端教育部)○濱田峻吾・
(徳島大院社会産業理工)(正)太田光浩

D209 単一液滴と不混和静止液体層の衝突過程
への液体粘度の影響
(徳島大院先端教育部)○松谷壮太・
(徳島大院社会産業理工)(正)太田光浩

D210 Euler-DPM連成解析によるスラグ流内の
粒子挙動解析
(徳大院工/田辺三菱製薬)(法)○山崎聡太・
(京大院工)(正)外輪健一郎・
(徳大院工)(正)堀河俊英

[一般講演]
(13:20～15:20)

D214 ベンゼンからの熱分解炭素CVD速度に水
蒸気が及ぼす効果
(京大工)(学)○南 遼河・(学)牧野優作・
(学)松田 萌・(正)河瀬元明

D215 ヨウ化鉛メチルアンモニウムペロブスカ
イト薄膜の新規気相成長プロセス開発
(京大工)(学)○松田 萌・(学)村上誉紀・
(学)松村南月・(正)河瀬元明

D216 プラズマCVD法を用いて作製したシリカ
系ガスバリア膜に加わる残留応力低減方
法の検討
(京大)(学)○平田桑一朗・(学)田中茉莉亜・
(学)脇坂知樹・(正)河瀬元明

D217 ピセン誘導体薄膜による可視光照射下で
の水の光分解反応
(神戸大工)○江 宇帆・内藤翔太・嶋田捷仁・
(正)谷屋啓太・(正)市橋祐一・(正)西山 覚

D218 充填層型コンパクトリアクタの流動・輸
送特性解析
(京大院工)(学)○北川晶大・(正)殿村 修・
(正)牧 泰輔・(正)外輪健一郎

D219 金属酸化物を用いた水素の迅速処理にお
ける気固反応モデルの構築
(京大工)(学)○若井智也・(学)菅谷大輝・
(正)蘆田隆一・(東芝ESS)岡部寛史・山田 昂・
(京大工)(正)河瀬元明

— E会場—

—第1日—
[シンポジウム(環境・エネルギーシンポジウム)]
(10:00～11:40)

E104 硬殻マイクロカプセルのU字管内流動特
性の調査
(神戸大)(学)○大坪拓夢・(正)日出間り・
(正)堀江孝史・(正)菰田悦之・
(正)大村直人・浅野 等・(正)谷屋啓太・
(正)市橋祐一・(正)西山 覚・(正)鈴木 洋

E105 硬殻シリカマイクロカプセルの高内包率
化
(神戸大)(学)○神崎伊織・(正)日出間り・
(正)堀江孝史・(正)菰田悦之・
(正)大村直人・浅野 等・(正)谷屋啓太・
(正)市橋祐一・(正)西村 覚・(正)鈴木 洋

E106 誘導加熱式ドラムドライヤに関する数値
解析
(京大工)(学)○堀米厚志・(正)佐野紀彰・
(カツラギ工業)(法)西村靖史

E107 液相中の金属イオンと低品位炭素資源の
酸化還元反応を利用した高効率発電法
(京大工)(学)○水谷勇太・(学)金子創太・
(学)松田和士・(正)蘆田隆一・(正)河瀬元明

E108 汎用ヒートポンプを使用した省エネ蒸留
システム
(木村化工機)(正)○中西俊成・(正)池田博史・
(京大名誉)(正)長谷部伸治

—第2日—
[一般講演]
(10:00～12:20)

E204 粒子-粒子間における伝熱抵抗の数値解
析
(岡山大院自)(学)○畝本将吾・(正)中曾浩一・
(正)三野泰志・(正)後藤邦彰

E205 固体高分子燃料電池の酸素還元反応速度
パラメータの測定法の開発
(京大工)(学)○小川 輝・(学)村瀬叶多・
(正)山口和宏・(正)影山美帆・(正)河瀬元明

E206 常温での空気中からの電気化学的酸素分
離に関する基礎試験
(大工大)(学)○衣笠太一・(学)水内智貴・
(正)宮本 均

E207 電気化学反応による水素とアセトアルデ
ヒドの同時製造プロセスの開発
(京大工)(学)○名村啓佑・(学)綿野夢大・
(正)河瀬元明

E208 プラスチックに吸着した有機汚染化合物
の光分解挙動の評価
(広大院工)(学)○葛上敦史・(正)西嶋 渉・
(正)中井智司・(正)後藤健彦・Nazmul Hassan

E209 製造環境におけるオイルミストの捕集

(金沢大自然科学)(学)○寺嶋絃輝・平井幸次郎・
(三機工業)(学)岩崎守顕・福森幹太・
(金沢大理工)猪股弥生・(正)東 秀憲・
(正)瀬戸章文

E210 理系学生のためのグローバル科学教育
(兵庫県大総合)(正)大内幹雄
—P会場—

—第1日—

[シンポジウム(企業+学生・留学生国際交流シン
ポジウム)]

(12:00~15:00)ポスターセッション

P101 C18脂肪酸混合物の高圧固液平衡の測定
(兵庫県大院工)(学)○内藤洋輔・(正)前田光治・
(正)新船幸二・(正)伊藤和宏・(正)山本拓司・
(国環研)(正)倉持秀敏

P102 2成分系脂肪酸混合物の融液晶析におけ
る操作条件の影響
(兵庫県大院工)(学)○大西沙季・(正)田口翔悟・
(正)伊藤和宏・(正)前田光治・(正)山本拓司

P103 セシウムイオン吸着剤の合成と吸着挙動
の速度論的解析
(兵庫県大工)(学)○佐伯晴奈・
(兵庫県大院工)(学)中谷知生・(正)田口翔悟・
(正)伊藤和宏・(正)前田光治・(正)山本拓司

P104 DSL. ジャパン会社紹介
(DSL. ジャパン)(共)浜田文哉

P105 ゼオライトのカフェイン吸着特性に関
する基礎的検討
(兵庫県大院工)(学)○松田 透・(正)田口翔悟・
(正)伊藤和宏・(正)前田光治・(正)山本拓司

P106 マイクロ波加熱法がゼオライト成長およ
び細孔形成に及ぼす影響
(広大院工)(学)○大塚康平・(正)深澤智典・
(正)石神 徹・(正)福井国博

P107 微小粒子添加時の流体特性が被覆状態
と排出流動性向上効果に及ぼす影響
(同志社大理工)(学)○富永志織・
(正)下坂厚子・(正)吉田幹生・(正)白川善幸

P108 (株)ノーリツの新技术と新機能の紹介
(ノーリツ)(共)○宮川晴徳・(共)吉村雅也・
(共)的場義明

P109 微細藻類からバイオ燃料を生産するた
めの細胞破碎と濃縮技術
(兵庫県大)(学)○中筋智樹・(正)伊藤和宏・
(正)田口翔悟・(正)山本拓司・(正)前田光治

P110 疎水化セファロースゲルへのリパーゼの
固定化とそのエステル交換反応活性
(同志社大理工)(学)○牧野恭治・
(正)田原義朗・(正)松本道明

P111 逆相ガスクロマトグラフィー(IGC)を用
いたHansen溶解度パラメータの測定
(関西大)(学)○加藤優梨・小池直哉・
(学)藤原暢之・(正)山本秀樹

P112 山陽色素の会社紹介
(山陽色素)(法)○橋野宏樹・(法)本玉直哉

P113 流体置換時に発生する界面揺らぎのス
ケーリング解析
(阪大院基工)(学)○橘 明典・
(農工大院工)(学)鈴木龍汰・(正)長津雄一郎・
(阪大院基工)(正)伴 貴彦

P114 シリコン単結晶成長プロセス時に発生す
る熱対流についての熱力学的解析
(阪大院基工)(学)○金久哲也・(正)伴 貴彦

P115 希土類金属の検出に向けた修正スピン対
形成エネルギー理論に基づく界面張力振
動の解析
(阪大院基院)(学)○田井中惇平・(正)伴 貴彦

P116 日鉄ケミカル&マテリアルの企業紹介
(日鉄ケミカル&マテリアル)(法)大内山智哉

P117 無機物添加によるリグニン熱分解過程で
のタール生成の抑制
(関西大)(学)○牧原聡一郎・(正)長谷川功・
(正)林 順一

P118 宇宙居住用水浄化装置の開発を目指した

マランゴニ効果による単一液滴移動の数
値解析
(阪大院基工)(学)○廣川雄也・
(正)関本 敦・(正)岡野泰則

P119 分子動力学シミュレーションを用いた酸
化グラフェン積層膜の透過・分離機構の
解明
(神戸大院科技イノベ/先端膜工学セ)
(学)○安井健悟・(正)吉岡朋久・
(正)中川敬三・(正)新谷卓司・
(神戸大院工/先端膜工学セ)
(正)神尾英治・(正)松山秀人

P120 神戸製鋼所グループ(KOBELCO)の「化学
のチカラ」
(神戸製鋼所)(正)松岡 亮

P121 ニオブ酸アルカリ系圧電セラミックスの
圧電特性及び局所構造解析
(兵庫県大)○伊藤 稜・小舟正文・宅和知準・
菊池武幸・(原子力機構)米田安宏

P122 ビスマス層状構造強誘電体薄膜の微細加
工に及ぼすPt犠牲層の影響
(兵庫県大)○高崎英幸・小舟正文・大林泰貴・
松永拓也・伊藤 稜・右田 翼・菊池文幸・
神田健介・前中一介

P123 PLGA ナノ粒子を用いたタバコ培養細胞
への親水性物質の送達
(阪大院工)○愛須 光・(正)小西康裕・
(正)野村俊之

P124 カツラギ工業株式会社
(カツラギ工業)(正)對馬一平

P125 原子間力顕微鏡を用いた酵母-マイクロ
バブル間に働く相互作用力の直接測定
(阪大院工)○加藤 聡・(正)小西康裕・
(正)野村俊之

P126 平行平板流れ場と原子間力顕微鏡を用
いた微生物に働く付着力の測定
(阪大院工)○松本拓海・(正)小西康裕・
(正)野村俊之

P127 担持Pt触媒を用いたシリカ系触媒膜の作
製とメチルシクロヘキサン脱水素反応の
評価
(神戸大院科技イノベ/先端膜工学セ)
(学)○山田雛乃・(正)中川敬三・(正)新谷卓司・
(神戸大院工/先端膜工学セ)
(正)神尾英治・(正)松山秀人・
(神戸大院科技イノベ/先端膜工学セ)
(正)吉岡朋久

P128 攪拌プロセス設計に対するCFDと連携し
た多目的最適化手法の評価
(ダイセル)(法)○胤森雄太・(法)山田剛史・
(法)伊奈智秀

P129 静電吸着による両性イオンコポリマーの
導入による膜の耐ファウリング性の向上
(神戸大院工)(学)○王 聖瑤・
(海)方 立峰・(正)松山秀人

P130 泥しょう鑄込み法によるヘキサフェライ
ト焼結体の作製
(兵庫県大)(学)○小林優一・(学)市野元太・
(正)菊池文幸・小舟正文・
(岡山大)中西 真・藤井達生

P131 錯体重合法により合成した磁気記録用M
型Srフェライトの磁気特性および微細構造
(兵庫県大)(学)○赤松剛史・(学)赤井涼人・
(共)菊池文幸・小舟正文・
(岡山大)中西 真・藤井達生

P132 日本ポリマー工業(株)の企業説明
(日本ポリマー工業)(正)前田勝哉

P133 静電スプレーによる帯電ナノ液滴の生成
と沈着過程の解析
(金沢大理工)(学)○館 遥香・
(金沢大院自然研)(学)王館知也・
(金沢大理工)(正)東 秀憲・(正)瀬戸章文・
(パナソニックAP)清水加奈・大江純平

P134 微粒子の細胞応答解析のためのモデル粒

子生成

(金沢大理工)(学)○佐藤 碧・Lee Kwangyul・
(金沢大院自然研)(学)伊藤絵里香・
(金沢大理工)Kim Injeong・猪股弥生・
(正)東 秀憲・(正)瀬戸章文

P135 サツマイモの等温調理過程におけるマル
トース生成予測モデルの構築
(京大院農)(学)○坂本 修・小林 敬・
(京大院工)(正)中川究也

P136 播羊化学研究所の紹介
(播羊化学研)辻村 豊

P137 Facile creation of an antifouling PVDF
membrane for separation of oil/water
emulsion by simple modification with poly
(tetrafluoro ethylene-r-vinylpyrrolidone)
(神戸大)(学)○孫 雨辰・(海)Lin Yuqing・
(正)松山秀人

P138 2成分添加微小粒子が充填率向上効果に
及ぼす影響の計算解析
(同志社大理工)(学)○須佐見幸広・中村早希・
(正)下坂厚子・(正)吉田幹生・(正)白川善幸

P139 グラフェン強化エポキシ接着剤の疲労破
壊挙動
(兵庫県大)○亀高航平・石田 大・下山達志・
(共)松田 聡・(共)岸 肇

P140 DEMを用いた乾式粉体攪拌プロセスの検
討
(ダイセル)(法)○糸見明穂・
(法)山田剛史・(法)伊奈智秀

P141 糖により制御可能な自在変形ヒドロゲル
の設計と細胞培養基材への応用
(阪大基工)(学)○武藤祐奈・(正)中畑雅樹・
(正)境 慎司

P142 可視光応答性光触媒を用いた酸化/還元
場分割型光触媒マイクロリアクターの開
発
(京大院工)(学)○有田春輝・
(京大工)(学)助川竜一郎・
(京大院工)(正)長嶺信輔

P143 非水系における高分子の希薄溶液濃度の
定量測定
(兵庫県大院工)(学)○今井直直樹・
(正)佐藤根大士・(正)飯村健次

P144 フジライト工業株式会社の事業内容と会
社概要
(フジライト工業)(共)○宇戸哲也・
(共)田路順一郎

P145 化学的共沈法を用いた酸化鉄ナノ粒子の
粒径制御
(兵庫県大院工)(学)○田阪太郎・
(正)佐藤根大士・(正)飯村健次

P146 株式会社梶原鉄工所の紹介
(梶原鉄工所)(正)大明 賢

P147 ミストCVD法による酸化チタン薄膜の低
温形成
(兵庫県大)○森 暁洋・山下寛幸・
(正)前田光治・(正)新船幸二

P148 タクマの企業紹介
(タクマ)(正)太田智久

P149 LIA スパッタ法により製膜した酸化アル
ミニウム膜のパッシベーション特性に及
ぼす熱工程の影響
(兵庫県大)○代野 宝・倉持雄大・(正)前田光治・
(正)新船幸二

P150 HIT型太陽電池の自由キャリア吸収抑制
に関する検討
(兵庫県大)○上田有紗・倉持雄大・
(正)前田光治・(正)新船幸二

P151 エポキシ樹脂ブレンドの剥離強さと成形
性
(兵庫県大)○中野晋也・西脇隆太・
(共)松田 聡・(共)岸 肇

P152 日本化薬(株)セイフティシステムズ事業
の紹介

- (日本化薬) (法) 福島 淳
P153 電気泳動堆積法で作製した酸化チタン粒子薄膜によるメチレンブルーの分解
 (同志社大理工) ○Mziyanti Thabiso Edward · (正) 土屋活美 · (正) 森 康維
P154 平行平板二枚攪拌翼の攪拌性能
 (神戸大院工) (学) ○高坂航平 · (正) 大村直人 · (三広アステック) 石畑敦啓 · (神戸大院工) (正) 菰田悦之 · (正) 堀江孝史
P155 イオン性高分子ゲルを用いたレアメタル・レアースの回収
 (広大院工) (学) ○花井健祥 · (広大工) (蒸) 後藤健彦 · (正) 中井智司
P156 改良型Petlyuk蒸留プロセスの実用化 - 開発・設計・運転 -
 (ダイセル) (法) 轟 尚紀
P157 リンタンゲステン酸ナノ粒子と高分子ゲルの複合体作製と酸触媒特性の検討
 (広大院工) (海) ○祝 俊傑 · (広大工) (正) 後藤健彦 · (正) 中井智司 · 定金正洋
P158 オキシム系抽出剤を分散内包した架橋ゲルマイクロカプセルによるCu(II)の抽出特性におよぼす調整条件の影響
 (宮崎大院工) (学) ○柴畑明穂 · (都城高専) (正) 清山史朗 · (鹿大院理工) (正) 武井孝行 · (正) 吉田昌弘 · (宮崎大工) (正) 塩盛弘一郎
P159 安定密度成層による一様剪断乱流の再層流化
 (阪大院基) ○小田裕也 · 王 麗雅 · (正) 関本 敦 · (正) 岡野泰則
 [シンポジウム (第38回播磨産業フォーラム「バイオ新素材を生み出す技術」)]
 (15:30 ~ 17:30)
P161 [招待講演] 魚うろこ由来コラーゲンファイバーの開発
 (多木化学) 河上貴宏
P162 [招待講演] 酒作りから醗酵の展開 ~ ヤエガキ醗酵技研の研究取組 ~
 (ヤエガキ醗酵技研) 常 勇進

重合工学レクチャーシリーズNo.7 高分子微粒子の製造・機能化から プロセス開発まで

主催 近畿化学協会重合工学会部
 共催 化学工学会関西支部
 日時 2020年1月15日(水)10:00~18:30
 会場 大阪科学技術センター6階600号室(大阪市西区朝本町1-8-4)
 〈交通〉Osaka Metro地下鉄「本町」駅25・28番出口より徒歩7分、うつば公園北詰め

プログラム

開会挨拶(10:00~10:10)

(阪府大院工)安田昌弘氏

1. 高分子微粒子 重合方法と粒子設計(10:10~11:30)
(慶應大名譽)川口春馬氏
2. 乳化重合とその類似プロセスの重合機構に関する研究(12:30~13:30)
(福井大院工)鈴木 清氏
3. 高分子微粒子の構造制御による機能化(13:30~14:30)
(神戸大院工)南 秀人氏
4. 高分子微粒子の製造におけるプロセス強化(14:45~15:45)
(神戸大院工)大村直人氏
5. 懸濁重合の連続プロセスに関する研究(15:45~16:45)

(阪府大院工)安田昌弘氏
交流懇親会(17:00~18:30) 参加費無料
参加費 主催団体会員5,000円、共催団体会員15,000円、一般20,000円、学生5,000円
申込締切 1月10日(金)、ただし定員50名になり次第締切。
申込方法 HP (<http://www.kinka.or.jp/form/view/index.php?id=32>)よりお申し込みください。
 参加費は現金書留または銀行振込(三井住友銀行備後町支店・普通預金No.1329441一般社団法人近畿化学協会)をご利用ください。
申込先 〒550-0004 大阪市西区朝本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
 一般社団法人近畿化学協会 重合工学会部
 TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
 E-mail: polymer@kinka.or.jp

第27回化学工学イノベーション 研究会 ~次世代再生医療の実現に向けた 化学工学の役割~

主催 化学工学会関西支部
 共催 大阪大学工学研究科連携融合研究組織細胞製造コトづくり拠点
 日時 2020年1月22日(水)13:00~
 会場 大阪大学 産学共創本部A棟1Fセミナー室 [大阪府吹田市山田丘1-1 TEL: 06-6877-5111]
 〈交通〉大阪モノレール「阪大病院前」駅より徒歩5~15分
http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp/top/access/suita_map.html

プログラム

話題提供

1. 再生医療の現状とこれまでの貢献(13:05~13:40)
(阪大院工)齋藤充弘氏
 2. 再生医療技術の産業化に向けた取り組み(13:40~14:30)
(阪大院工)紀ノ岡正博氏
 3. 細胞製造コトづくり拠点の活動(14:30~15:00)
(阪大院工)水谷 学氏
 4. 細胞製造システム開発関連研究室 見学会(15:15~6:15)
 5. 質疑応答(16:15~16:45)
- 懇親会(17:00~) 於: 大阪大学吹田キャンパス内「Kitchen BISIYOKU」

参加費 聴講 無料、懇親会参加費4,000円(当日お支払いください)

申込締切 定員(20名)になり次第締切

参加資格 原則、化学工学会関西支部所属(法人/正)会員であれば参加可能です。

申込方法 ホームページの参加申込フォーム <https://www.kansai-scej.org/2019/0122innov27.html> よりお申し込みください。または、E-mailにて標記行事名を題記し、1)氏名、2)勤務先(所属)、3)会員資格、4)連絡先(住所、郵便・電話番号、E-mail)、5)懇親会参加の有無、6)連絡事項を明記のうえ、下記宛てにお申し込みください。参加証は送付しませんので、直接会場へお越しください。

申込・問合先 公益社団法人 化学工学会関西支部
 〒550-0004 大阪市西区朝本町1-8-4 大阪科学技術センタービル6階
 TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
 E-mail: apply@kansai-scej.org

関西支部・和歌山地区共催セミナー プロセス安全の最新動向

共催 化学工学会関西支部、和歌山化成工業協同組合、和歌山県化学技術者協会
 協賛 近畿化学協会、日本化学会近畿支部、和歌山化学工業協会、わかやま産業振興財団、和歌山県工業技術センター

日時 2020年1月30日(木)13:00~19:00
 会場 ダイワロイネットホテル和歌山4階「グラン」和歌山市七番丁26-1 TEL: 073-435-00585
<http://www.daiwaronet.jp/wakayama/>
 〈交通〉JR和歌山駅バス2番乗り場より県庁・和歌浦方面行き「公園前」バス停下車すぐ、南海電鉄和歌山市駅バス8番乗り場よりJR和歌山駅行き「京橋」バス停下車すぐ

プログラム

開会の挨拶(13:00~13:10)

講演(質疑応答5~10分含む)

- (1) 新次元の生産性を実現するキーコンセプト「ものづくり自律化システム」(13:10~14:20)
(アズビル)木村大作氏
- (2) 欧米におけるリスクアセスメントの最新動向(14:20~15:30)
(東洋エンジニアリング)角田 浩氏
- (3) ボイラ破裂事故と安全確保のための社会システムの構築(歴史的展開)(15:40~16:50)
(関西大社会安全)小澤 守氏
閉会の挨拶(16:50~17:00)
懇親会(17:10~19:00) 於: 同所4階 プランシェ

申込締切 定員(60名)になり次第締切

参加費 講演会: 無料、懇親会: 企業6,000円、大学・公設機関4,000円(当日会場にてお支払いください)

申込方法 Web上の参加申込フォーム (<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=20708>)よりお申し込みください。

または、E-mail等にて標記行事名を題記し、1)氏名、2)勤務先(所属)、3)所属学協会、4)連絡先(住所、郵便・電話番号、E-mail or FAX)、5)懇親会参加の有無を明記のうえ、下記宛てにお申し込みください。参加申込者には1月中旬にE-mailにて参加証を送付いたします。

申込先 公益社団法人 化学工学会関西支部
 〒550-0004 大阪市西区朝本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
 TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
 E-mail: apply@kansai-scej.org

第32回CES21講演会 令和に輝く新素材 -未来の扉をこじ開ける 熱きエンジニア-

主催 化学工学会関西支部CES21
 協賛 近畿化学協会、日本化学会近畿支部、資源素材学会、分離技術会、化学工学会 材料・界面部会、同分離プロセス部会、同粒子・流体プロセス部会、同反応工学会(予定)

日時 2020年1月31日(金)10:30~16:40
 会場 大阪市立大学文化交流センター(大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6F)
 〈交通〉JR「大阪」「北新地」、Osaka Metro「梅田」、阪急・阪神「大阪梅田」の各駅から徒

歩5分

プログラム

1. 化学工学とベンチャー企業(10:30～11:20)
(ファンクショナル・フルイッド) 藤岡恵子氏
2. 二酸化炭素分離回収用新規材料の開発と実用化展開(11:20～12:10)
(RITE) 山田秀尚氏
3. ナノ多孔性セラミック分離膜の事業化と次世代型化学プロセスの開発(13:30～14:20)
(イーセップ) 澤村健一氏
4. 企業ショートプレゼンテーション・展示(14:20～15:00)〈参加企業募集中〉
5. 新素材を研究室から社会に出すための独自戦略(15:00～15:50)
(岡山大異分野融合コア) 仁科勇太氏
6. 新素材としての人工タンパク質 "Brewed Protein™" の紡糸技術開発と製品化(15:50～16:40)
(Spiber) 安部佑之介氏

定員 60名(定員になり次第締切)

参加費 主催・協賛団体会員 12,000円, 大学・官公庁 7,000円, 学生 3,000円, 会員外 16,000円(消費税, テキスト代含む)

申込方法 本講習会のHP (<https://www.kansai-scej.org/2019/R2ces.html>) よりお申込みください。もしくは標記行事名を題記し, (1)氏名, (2)勤務先(所属, 役職), (3)会員資格, (4)連絡先(住所, 郵便・電話番号, E-mail), (5)送金予定日を明記のうえ, 下記宛てにE-mailでお申し込みください。参加費の送金は, 銀行振込(りそな銀行御堂筋支店普通預金 No.0405228「公益社団法人化学工学学会関西支部」名義)をご利用ください。

申込・問合せ先

公益社団法人化学工学学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
E-mail: apply@kansai-scej.org

GMPセミナー 医薬品製造に関わるGMPの 最新動向：講演会&見学会 ～連続製造技術と装置設計における 品質保証～

主催 化学工学学会関西支部
協賛 ISPE日本本部, 近畿化学協会, 製剤機械技術学会, 日本化学会近畿支部, 日本生物工学会, 日本粉体工業技術協会, 日本PDA製薬学会, 日本農芸化学会関西支部, 日本プロセス化学会, 日本薬学会関西支部, 粉体工学会, 分離技術会

日時 2020年2月6日(木)～7日(金)
会場 大阪科学技術センター8階 大ホール【講演会】(大阪市西区靱本町1-8-4)
〈交通〉Osaka Metro(地下鉄)「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩5分, うつほ公園北詰

プログラム

【講演会・2月6日】

1. 医薬品開発と製造における技術開発型受託企業(CDMO)としての挑戦
シオノギファーマ(株) 久米龍一氏
2. バイオ医薬品の連続製造におけるパーサスリアクター*の特徴と利点
日揮(株) 田原直樹氏
3. 連続貧溶媒晶析への連続層流混合装置の適用と応用
日揮(株) 川野昌弘氏
4. 高砂香料工業における連続製造設備を用いた医薬中間体製造の実例
高砂香料工業(株) 喜田充生氏
5. 医薬品製造における装置開発事例
テックプロジェクトサービス(株) 池谷勝俊氏

6. 交流会

【見学会・2月7日】

①(株)パウレック 本社・イノベーションセン

- ター(兵庫県伊丹市) 定員30名
②ペプチスター(株)本社工場(大阪府摂津市) 定員40名
③シオノギファーマ(株)(大阪府摂津市) 定員40名

申込締切 1月8日(水)

定員 講演会200名, 見学会110名(定員になり次第締切)

*見学会については, 同業者の方の見学をお断りさせていただく場合がございますので, 予めご了承願います。

*見学希望者多数の場合は, 先着順で1社当たりの参加者数を制限させていただく場合があります。また, 見学会は, 2日間受講の方を優先とさせていただきますので, ご了承願います。

参加費 2日間: 主催・協賛団体個人会員 24,000円, 主催・協賛団体法人会員 30,000円, 大学・官公庁 15,000円, 学生会員 3,000円, 会員外 47,000円, 会員外学生 6,000円
1日のみ: 主催・協賛団体個人会員 19,000円, 主催・協賛団体法人会員 23,000円, 大学・官公庁 7,000円, 学生会員 3,000円, 会員外 37,000円, 会員外学生 5,000円

申込方法 本セミナーのHP (<https://www.kansai-scej.org/2019/R2gmp.html>) よりお申込みください。もしくは, 標記行事名を題記し, (1)氏名, (2)勤務先(所属), (3)会員資格, (4)連絡先(住所, 郵便・電話番号, E-mail), (5)参加日(1日だけの参加は参加日を明記), (6)交流会参加の有無, (7)見学希望場所(第1～3希望)を明記のうえ, 下記の申込先にE-mailでお申し込みください。参加費の送金は, 銀行振込(りそな銀行御堂筋支店普通預金 No.0405228「公益社団法人化学工学学会関西支部」名義)をご利用ください。

申込先 公益社団法人化学工学学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

E-mail: apply@kansai-scej.org